

かしけれ、水たまらずんば、いかでか月もやどる事あらん、そこぬけたらましかば、いかでか水のたまるべき、そも又水はたがためにかくみ、桶はまたたが爲にかいたゞける、ちよのふはまたこれたそ、

ぬけし話わやそこなき桶の水の月

汲湛否否水汲桶 水在青天月在輪 水在桶月在青天 元來不識月與桶

〔尊勝院文書〕越前國使等解 申勘定□□□物事

合買雜物廿一物

價稻四百五十四束略○中

水乎氣十口 直五束 束二合

天平勝寶七歲五月三日

田使曾禰連弟麻呂○以下略

〔天保十三年物價書上〕桶類引下直段取調書上

一手桶 榧赤身極上

當五月引下直段金壹朱當時改四百六文、但三十文下直相成申候、

同 下

同貳百廿八文、但十貳文下直相成申候、

杉赤身上

同四百七拾六文、但貳拾文下直相成申候、

同 下

同百七拾八文、但拾文下直相成申候、○中略

一小桶九寸 榧赤身極上

當五月引下直段百四拾八文、但八文下直相成申候、

同 中

同百拾六文、但六文下直相成申候、

杉赤身上

同百三拾貳文、但八文下直相成申候、

同 下

同百八文、但四文下直相成申候、○中略

一米洗桶尺 榧赤身極上

同貳百五拾八文、但拾四文下直相成申候、